

点眼、そしてSLTへ

— エキスパートの知見から紐解く、
日本人NTG治療の新たな協奏曲（ハーモニー）

座長

新田 耕治 先生
(福井県済生会病院)

溝上 志朗 先生
(愛媛大学)

演者

桑山 泰明 先生
(福島アイクリニック)

新田 耕治 先生
(福井県済生会病院)

溝上 志朗 先生
(愛媛大学)

LiGHT Trialにより、ファーストラインとしての地位を確立しつつあるSLT（選択的レーザー線維柱帯形成術）。しかし、正常眼圧緑内障（NTG）が大多数を占める日本の緑内障診療において、「どの症例に、どのタイミングで、どう組み込むべきか」——日々外来で頭を悩ませていませんか？

本セミナーでは、ALT時代から日本のレーザー治療を牽引し、緑内障診療の本質を知り尽くした桑山泰明先生がご登壇。レーザー治療の歴史の変遷と圧倒的な臨床経験から、SLTの真の立ち位置を俯瞰します。さらに、国内導入初期からフロントランナーとしてデータを蓄積してきた新田耕治先生、溝上志朗先生が参戦。日本人NTGに対する最新の臨床研究や、各施設でのリアルな活用術、薬物治療との境界線を徹底解説します。

エビデンスを語るだけでなく、明日からの外来で「迷わずSLTを提案できる基準」が手に入る、実践的な1時間です。



新田 耕治 先生

桑山 泰明 先生

溝上 志朗 先生